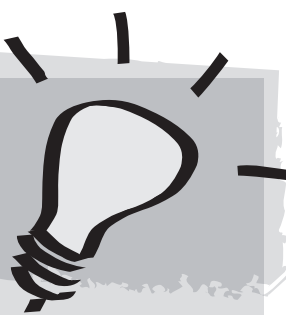


左の弦から

ゲー デー アー エー
G D A E
(ソ) (レ) (ラ) (ミ)

と読みます。

これだけは
覚えとけ!!



ついでに覚えるぶち補足

クラシック音楽界限では、ドレミをドイツ語で読むことが多いです。
ドレミで読むより都合がいいことも多いので、ついでに覚えるとこの先ラク♪

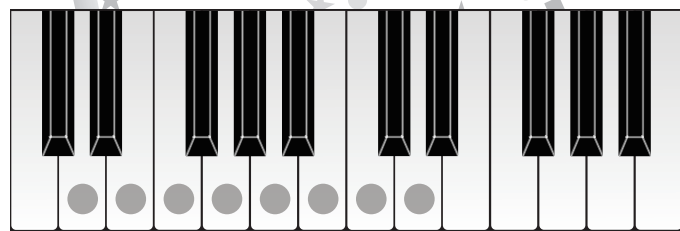
ツェー デー エー エフ ゲー アー ハー ツェー
C D E F G A H C
ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド
(ハ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (イ) (ロ) (ハ)

ドイツ語音名では **B** (ベー) はシではなく シ になります。

「移動ド」って?

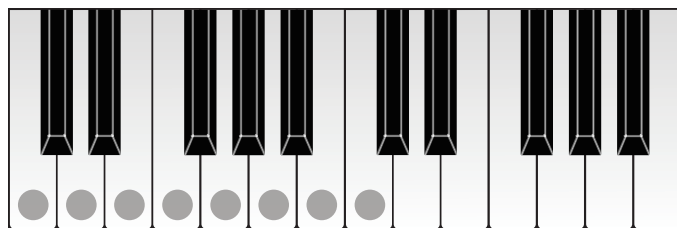
ピアノやキーボードで実際に
音を出してみるとわかりやすいです☆

ドレミファソラシド♪
って弾いてみて…



♪ ♯ ♭ どんとこい

…と今より思える方法だと思ってください♡



今度は右に1個ずらして
レミファソラシドレ♪



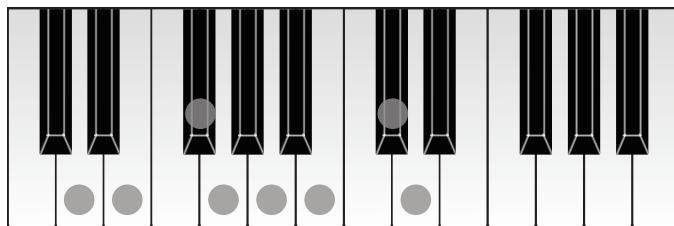
…うん。
なんかちょっと変。

ここでファとドを♯にすると

やっと普段聞き慣れたドレミの音階に☆
ファとドに♯をつけたので、楽譜ではこうなります。



(この曲ファとドに♯つくよ〜いちいち音符の前に書くの面倒だから冒頭にまとめとくわ。
…と楽譜の頭の方で教えてくれてるのが、いつもよく見るこんな楽譜。)



ド以外の音から始めてもドレミファと同じ感覚で歌うのが、移動ドです。

左の弦から

ゲー デー アー エー
G D A E
(ソ) (レ) (ラ) (ミ)

Q. ヴァイオリンではどうなるの?

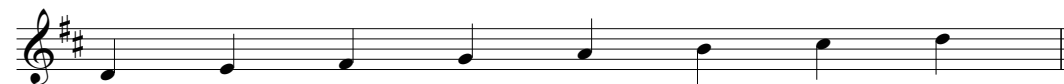
A.
ピアノや
管楽器より
実はラク。

実は楽譜とは
こんな関係になってます。

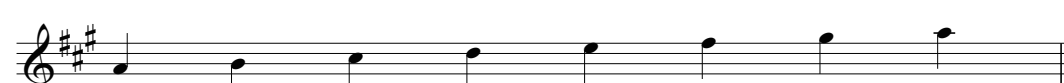
G (ソ) から始まる音階



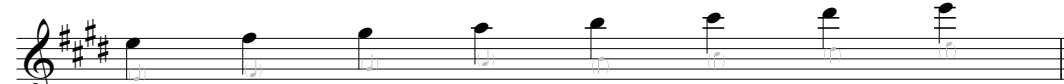
D (レ) から始まる音階



A (ラ) から始まる音階



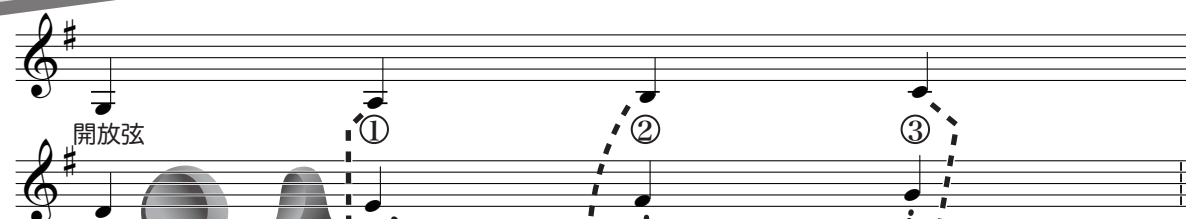
E (ミ) から始まる音階



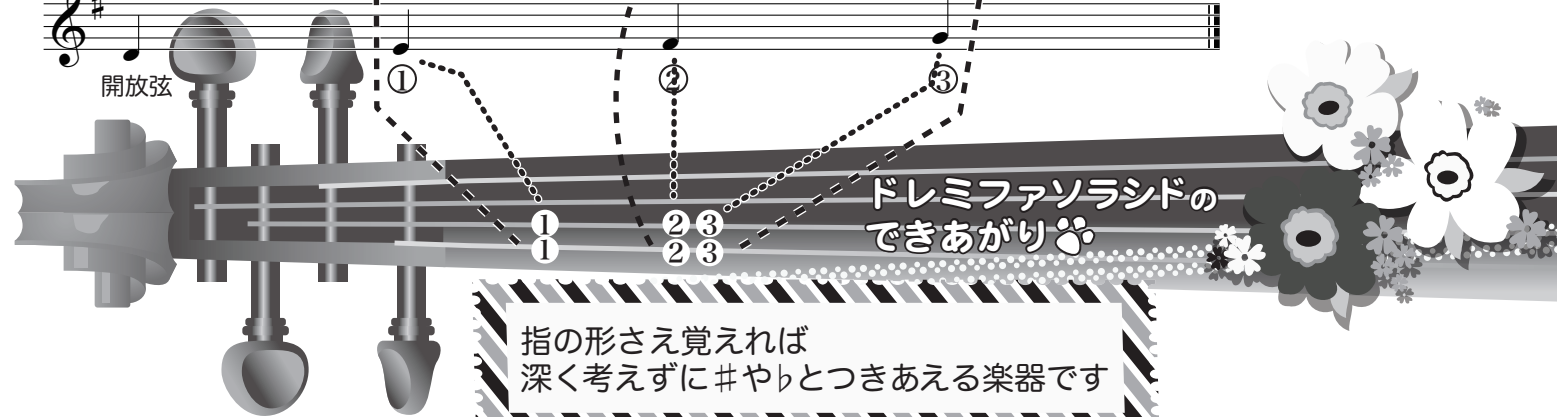
↑ ♯がひとつずつ増えてる

これをピアノや管楽器で
初心者が弾くのは大変!

ヴァイオリンなら
指の形を3, 4つ覚えるだけ



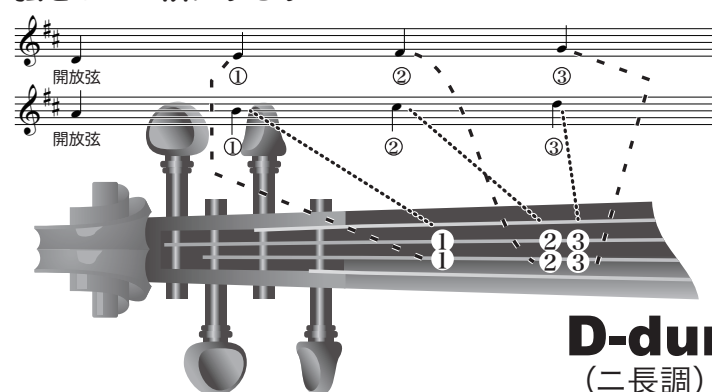
G-dur
(ト長調)



ドレミファソラシドの
できあがり🐾

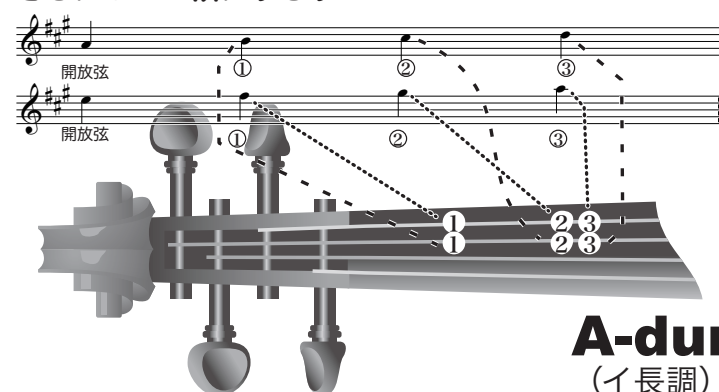
指の形さえ覚えれば
深く考えずに♯や♭とつきあえる楽器です

弦をひとつ隣にずらすと



D-dur
(ニ長調)

さらにひとつ隣にずらすと



A-dur
(イ長調)